

5

未来を拓く

昨年度からの継続事業として、宝町体育館の建て替えにかかわる体育施設建設工事に2億7,152万円。

昨年10月に着工した土佐山田学校給食センターが今年7月に完成予定。昨年度予算の内、9億8,299万円を繰り越し。

英語教育向上のため、小中学校に派遣する外国青年の招致費に1,586万円。小中学校の不登校児童生徒への支援を行う、ふれんどるーお支援事業に5,041万円。

少子高齢化対策を含めた地域福祉施策として、乳幼児医療などの医療費助成を行う福祉医療費助成事業に2億43万円。香美市では医療費が小学6年生まで無料。大宮小学校に児童クラブを建設する費用として6,813万円。国の子育て世帯臨時特例給付金として、2,167万円。

6

みんなで築く

今年度は、香北支所庁舎建設事業に4億5,129万円。物部支所庁舎建設事業は、主に設計費用と倉庫取り壊し費用として、3,850万円。

市民による香美市イメージキャラクターの人気投票を行い、上位3キャラが原動機付自転車のナンバープレート標識になる事業に89万円。

キャラ総選挙投票開始

投票は5月9日まで

©やなせたかし
香美市イメージキャラクター

Pic Up

給食センター建設

土佐山田町山田の土佐山田学校給食センターは築30年以上経過し、老朽化が著しいため、国の基準に沿った新施設を土佐山田町北本町に建設中です。総事業費10億5,522万円(見込み)。



建設中の給食センター ▶

Pic Up

宝町体育館建設

土佐山田町宝町の宝町体育館は、築30年以上経過し、老朽化が著しく、体育館を取り壊し、現在地に建て替えます。今年12月に完成予定。備品購入を含む総事業費3億円(見込み)。



宝町体育館 ▶

Pic Up

香北支所建設

香北支所庁舎は築40年以上経過し、老朽化が著しいため、新庁舎を、現庁舎南へ建設します。平成27年7月に完成予定。総事業費4億7,000万円(見込み)。



▲香北支所新庁舎イメージ

Pic Up

物部支所建設

物部支所庁舎と開発センター物部は築35年以上経過し、老朽化が著しいため、センターを取り壊し、両施設を複合した施設を建設します。建設費とセンター撤去費用に4億9,000万円(見込み)。



開発センター物部 ▶

特集2

新年度スタート

平成26年度の一般会計の当初予算案は、4月から新市長による市政運営が行われることから骨格予算で編成し、福祉や教育など住民生活に深くかかわる事業や、道路整備などの投資的経費では継続事業などを計上しました。

香美市振興計画の6つの基本目標に沿って、今年度の主な事業を紹介します。

1

まちのかたちを創る

今年度は、市道新町西町線の都市計画道路改良事業として1億500万円を計上。総事業費12億3,800万円(見込み)で平成30年度完成予定。



▲新町西町線計画区間

2

みどりを保つ

今年度は、消防庁舎建設の本体工事費など消防庁舎建設関連事業に8億1,290万円を計上。物部岡内ノ内の旧岡内小学校跡地へ、緊急用ヘリコプター離着陸場の整備事業に1,603万円を計上。同町神池、五王堂に続き3カ所目。震災対策農業水利施設整備事業の橋梁点検委託に2,260万円、基本計画の策定へ540万円を計上。

3

やすらぎを守る

今年度は、国の低所得者等への臨時福祉給付金1億1,144万円。高齢者宅訪問や集いの場の提供を行う、あったかふれあいセンター事業に999万円を計上。

4

賑わいを興す

今年度は、地域に根ざした産業の育成として、シカの食害対策としての防止柵の設置等を行う鳥獣被害対策事業に、4,523万円、園芸用レンタルハウスを建てる費用の補助を行うレンタルハウス整備事業に、5,033万円を計上。移住促進地域整備に向けた商店街の調査事業として360万円。

Pic Up

消防庁舎建設

旧消防庁舎は建築後40年以上経過し、老朽化が著しいため、旧庁舎の位置へ建て替えます。耐震性を有する庁舎を建設し、消防防災・救急体制の充実を図ります。今年度、建設工事が始まり、来年完成予定。総事業費9億5,765万円(見込み)。



▲消防庁舎建設現場